

黙示録 16 章 16 節ー21 節 スタディーガイド

★ 黙示録 16 章 16 節

こうして彼らは、ヘブル語でハルマゲドンと呼ばれる所に王たちを集めた。

国々の王たちを集めて、ハルマゲドンという所でイスラエルの民に対する最終解決会議を行います。

ハルマゲドンとは、二つのヘブライ語からなる言葉で、「ハー・メゲド」＝「メギドの丘」という意味です。

ボツラに隠れているイスラエルの民と、世界に生き残っているユダヤ人を抹殺するため、イスラエル民族最終解決会議を行おうと王たちを集めています。

ハルマゲドンの会議は、すべてのイスラエルの民と、神の印が押されて特別に守られている 14 万 4 千人のイスラエル人宣教師たちを抹殺するためのものです。

世界中から軍隊が送られ、イスラエルの民が隠れているボツラを取り囲みます。イスラエルの民、ユダヤ人が抹殺されれば、ご再臨がないからです。

★ マタイの福音書 23 章 39 節

あなたがたに告げます。『祝福あれ。主の御名によって来られる方に』とあなたがたが言うときまで、あなたがたは今後決してわたしを見ることはありません。

これが再臨の条件です。

ユダヤ人が民族的に、イエス・キリストをメシアとして、また、創造主である神様として「祝福あれ。主の御名によって来られる方に」という言葉でメシアを迎えるまで、「あなたがたは今後決してわたしを見ることはありません」と書かれています。つまり、その時まで再臨はないと告げられたのです。

これは、一部のユダヤ人グループだけでなく、全ユダヤ民族的にということです。このことをよく知っているサタンは、クリスチャンがそれに気付かないように「ユダヤ人はキリストを殺した」と思わせ、クリスチャンがユダヤ人を憎むように、そそのかし続けたのです。

★ 黙示録 16 章 17 節-21 節

第七の御使いが鉢を空中にぶちまけた。すると、大きな声が御座を出て、聖所の中から出て来て、「事は成就した」と言った。すると、いなずまと声と雷鳴があり、大きな地震があった。この地震は人間が地上に住んで以来、かつてなかったほどのもので、それほど大きな、強い地震であった。また、あの大きな都は三つに裂かれ、諸国の民の町々は倒れた。そして、大バビロンは、神の前に覚えられて、神の激しい怒りのぶどう酒の杯を与えられた。島はすべて逃げ去り、山々は見えなくなった。また、一タラントほどの大きな雹が、人々の上に天から降って来た。人々は、この雹の災害のため、神にけがしごとを言った。その災害が非常に激しかったからである。

17 節「第七の御使いが鉢を空中にぶちまけた。すると、大きな声が御座を出て、聖所の中から出て来て、『事は成就した』と言った。」

最後の 3 年半、聖所の中に誰も入れなかった所から大きな声がしました。「事は成就した」という神様の御声です。

ギリシャ語では過去形で単数の言葉です。一つの重要な、成すべき事が完了したことを表しています。

18 節「すると、いなずまと声と雷鳴があり、大きな地震があった。この地震は人間が地上に住んで以来、かつてなかったほどのもので、それほど大きな、強い地震であった。」
これらはすべて、神様のご栄光と御力を表すものです。

人間が地上に住んで以来、見たことも聞いたこともない、想像が出来ないほどの大きな地震です。現在、科学者がスーパー火山と呼ぶ山々が今にも噴火せんばかりのマグマの動きです。

最近の出来事だけでも、2004 年のスマトラ島沖の地震と津波被害で 30 万人以上が亡くなり、2010 年のハイチ地震では 25 万人以上が亡くなっています。
2010 年の初めから、震度 7 以上の地震が次々と起こっています。

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災は、マグニチュード 9 の巨大な地震と津波で世界が震え上がり、「終末を表す出来事」という言葉がニュースで使われたほどでした。

黙示録 8 章 5 節「御使いは、その香炉を取り、祭壇の火でそれを満たしてから、地に投げつけた。すると、雷鳴と声といなずまと地震が起こった。」

復讐ふくしゅうは主のものです。長年の聖徒たちの叫びに答えて、主が悪者どもに復讐をする時が来ました。

反キリストは全世界を自分のものとししました。ここで起こっている地震の範囲は全世界です。しかし、生き残っているイスラエルの民と聖徒たちは守られます

19 節「そして、大バビロンは、神の前に覚えられて、神の激しい怒りのぶどう酒の杯を与

えられた。」

大患難時代の初めの3年半に経済と宗教の本拠地となるバビロンは、後半の3年半は経済の本拠地となり、宗教の本拠地はエルサレムとなります。

19節「また、あの大きな都は三つに裂かれ、諸国の民の町々は倒れた。」

大きなバビロンは三つに裂かれ、以前の形さえ残らない姿となっているでしょう

20節「島はすべて逃げ去り、山々は見えなくなった。」

すべての島々がなくなるほどの大地震で、山が見えなくなるほど多くの地崩れが起こり、地上の形が変わってしまいます。

21節「また、一タラントほどの大きな雹が、人々の上に天から降って来た。」

1 タラントは約 35kg です。これだけ大きな雹が降ってくることは、おそらく前代未聞の出来事でしょう。地震で破壊されなかった場所も、この雹によって破壊されるでしょう。

21節「人々は、この雹の災害のため、神にけがしごとを言った。その災害が非常に激しかったからである。」

この災害が神罰であることを人々は知っていますが、悔い改めません。

出エジプト記 9 章 23 節で、神様がイスラエルの民をエジプトから解放するため、雹と雷をエジプト全土に送りました。しかし、心を頑^{かたく}なにしたパロは、イスラエルの民を解放しませんでした。それと同じように人々の心は頑^{かたく}なで、真の神様に心を向けません。

ついにすべての災難が終わりました。いよいよご再臨です。

ご再臨の話に入る前に、黙示録 17 章と 18 章が大バビロンについての総まとめを語っていますので、大バビロンの学びに入ります。

大バビロンは、昔のバビロン帝国とは規模が違います。反キリストが治める時、全世界が一つの国となります。

イラクとその周辺諸国には、世界の 60%以上の石油が存在しています。経済の中心地となっても不思議ではありません。

17 章では、反キリストと 10 人の王たちが治める、経済と WCC（世界教会協議会）のような宗教の本拠地となっていることが書かれています。

反キリストは統一される宗教の力を得て、世界を治めるようになります。

しかし、いったん世界が自分のものとなった時点で、自分を神の立場に置き、統一宗教を破棄します。そして、世界中の人々が反キリストの独裁によってコントロールされていきます。